

経営体の概要

- 所在地：栃木県那須塩原市
- 経営体名：個人経営
- 経営概要：酪農
ホルスタイン種160頭（経産牛110頭、育成50頭）
ジャージー種11頭（経産牛5頭、育成6頭）
自給飼料生産30ha
- 労働力：3名(本人・従業員・パート)
※令和6年5月現在

導入技術

- 自動搾乳システム（GEA社） 2台
・1台で60頭の搾乳が可能
・個体毎の搾乳量、搾乳時間、搾乳回数の把握が可能
・電気伝導度による乳房炎の早期発見が可能
- 牛群管理システム（GEA社）
・携帯端末やPCで、発情・採食時間等の把握が可能



搾乳ロボット



牛群管理システム(ウシに付けたセンサー)

導入経緯

- これまでに自動堆肥化システムや自動給餌システムなどを導入し、労働力軽減に取り組んできた。
- 現在朝3名、夕3名で作業を実施しているが、労働力の軽減と生産性の安定化を図るため導入した。

取組の特徴・効果

- 従来のパーラー搾乳を2割、自動搾乳システムでの24時間体制の搾乳作業を8割にすることで、搾乳に係る労働時間の短縮や自給飼料の生産性向上、生乳生産量の増加等が実現した。
 - ・搾乳時間の削減：7時間/日 → 2時間/日
 - ・削減した時間を牛舎の環境整備や牛の管理、飼料作物栽培等に充当
- 個体毎の行動データ（歩数、採食時間等）を、リアルタイムに把握することで、発情や疾病の発見が可能となり、繁殖成績の向上や疾病の早期治療につながった。
- 今後の経営展開
 - ・現状の経営規模を維持しながら、飼養頭数と草地面積のバランスが取れた酪農経営
 - ・自給飼料生産の単収及び品質向上
 - ・加工販売部門の継続